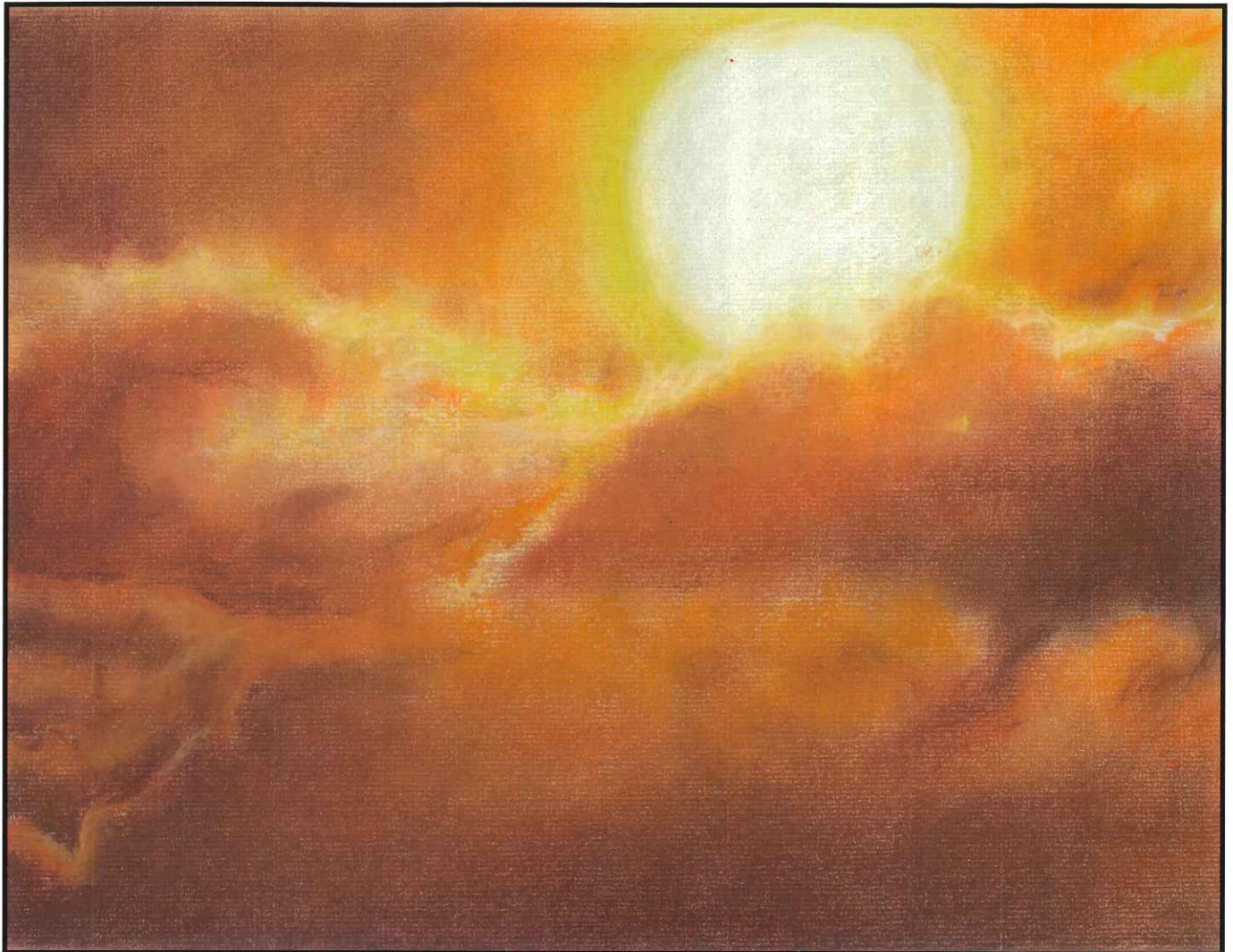




# 相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地  
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



パステル画「日の出」東雲 真沙美(紅風)氏作

## 安全掲示板

- 1 積雪・路面凍結時のスリップ事故防止
- 2 機械・器具類台帳との定数確認と定位置保管の励行
- 3 年末年始の交通安全意識の高揚
  - ◆飲酒運転の禁止
  - ◆制限速度の遵守
  - ◆シートベルトの着用
  - ◆夕暮れ時早めの点灯
  - ◆車間距離の保持



## 主な内容

- 年頭挨拶 ……………P2~P3
- 事務局便り ……………P3~P5
  - ・兵シ協事業推進大会
  - ・視察研修(役員・ヘルパー室・職員)
  - ・新事務所落成式
  - ・高齢者ドライバース教室
  - ・「もみじまつり」
  - ・しめ縄づくり
  - ・園児との餅つき交流会
- 親睦委員会便り ……………P6
  - ・グラウンドゴルフ大会結果
- 会員の広場 ……………P6~P7
  - ・連載手記「山の雑記帳」
  - ・作品紹介
  - ・会員の入退会状況
- 年男・年女紹介 ……………P8





新年のご挨拶



理事長 山本 肇

新年明けましておめでとうございます。どうぞごさいます。

会員の皆様には、良き新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

「二日の計は朝にあり、一年の計は元且にあり」と申します。

すべての計画や準備は、早く整えておけば何の憂いもなくことが運べるものです。

さて、新築いたしました相生事務所や作業場等も平成14年から準備を始めまして、平成28年の完成まで15年の期間を要することとなりましたが、会員の皆様をはじめ多くの関係者の皆様のご理解、ご協力そしてご尽力により目出度く落成式典を挙行することが出来ました。改めて御礼申し上げます。

今後は、これらの施設を拠点として、より一層の奮発を期するものがございます。会員の皆様、今年のご目標に向かって前進されますことを期待しております。今後は、私もシルバーの計とな

年頭挨拶



相生市長 谷口 芳紀

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、相生市・上郡町における高齢者の雇用の創出並びに地域の発展のためご尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、現在、我が国におきましては、人口減少・少子高齢化が課題となっており、各自治体では様々な取り組みが進められているところであります。

相生市では、全国に先駆け、教育、子育て、定住促進の施策に取り組んでおり、また、昨年度には、地域創生総合戦略を策定し、まちの活力を上昇させるべく、各種施策を着実に進めているところであります。

新年のごあいさつ



上郡町長 遠山 寛

まちを元気にするためには、行政だけでなく、市民の皆様と力を合わせ、共にまちづくりを進めることが必要であると考えており、長年にわたり豊富な経験と知識を培ってこられた高齢者の皆様方のお力を頂戴しながら、相生市の発展のため、誠心誠意努力してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして本年が実り多き年となりますよう、そして、会員皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。

望に満ちた輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は、高齢者の能力を活かした雇用の創出と明るい地域づくりにご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、少子高齢化、人口減少が急速に進む中で、地域社会の活力を維

持していくためには、高齢者の方々が高齢にかかわりなく社会参加できる環境づくりが重要となります。そのためには、健康で働く意欲のある高齢者の方々が、地域社会の担い手となって活躍いただき、さらに、日々の生活を生き生きと楽しんでいただけるような社会の実現を目指す必要があります。

上郡町では、総合計画に基づき「高齢者が元気で生き生きと暮らせるまちづくり」として、健康なまちづくりを通じて、高齢者の元気を維持することを大前提に、地域の見守りや子育て等に積極的に関わってもらえるまちづくりを進めておりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、シルバー人材センターの益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎え会員皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます

- 副理事長 坂本雅弘
- 常務理事 森川順天
- 理事 安西剛男
- 理事 大石泰男
- 理事 桑原伸次
- 理事 竹内繁礼
- 理事 種継武
- 理事 富山恵二
- 理事 濱中弘
- 理事 松本愛子
- 理事 山本典子
- 監事 藪田洋一
- 監事 鷹金幸二
- 監事 藤田和夫
- 監事 山田正司
- 事務局 職員一同

事務局便り

【兵シ協事業推進大会】

平成28年度、兵シ協事業推進大会は10月20日(木)、神戸新聞・松方ホールで開催され、当センターから職員3名と会員4名が参加しました。式典会場のロビーでは、各センター自慢の手作りの手芸品、農産物等の展示即売、また加古川シルバー人材センターによる事例発表、そして



外部講師による「楽しく実践！認知症予防トレーニング」の講演があり、表彰式では、

▼会員20年表彰(2名)  
山下 恵利子・河本 芳昭

▼会員15年表彰(6名)

花田 喜代子・稲田 弘・山田 弘子  
小林 清・竹内 義昭・江村 典哉  
受賞された皆様、誠におめでとうございませう。皆様の元気パワーでこれからも当センターでの活躍を期待しています。



(写真は左から山田、河本、山下、花田の皆さん)

《役員視察研修》

9月15日(木)、栃木県那須塩原市シルバー人材センターを訪問しました。

会議は、同センターの隅課長から両センターの対比を織り込み丁寧に非常に解りやすい説明を頂きました。続いて質疑応答形式で討論を行い安全適正就業基準に関する要綱のう

ち処分基準の抑止効果については、共に今後の課題の多さを痛感したところでは、  
経理上の各行政官庁の指導については、今回も微妙な対応の相違を感じました。

同センターの公共請負事業は充実しており、特に市からの受託事業のうち福祉分野(元気アップデバイス)と放射能除染事業は注目された。特に放射能除染作業は福島原発から百キロの隣接地ならではの話題であり興味深く拝聴しました。

示唆に富んだお話を頂いた同センターの皆様には深く感謝したいと思います。





【新事務所落成式典開催】

10月18日(火)、相生事務所・ワークプラザの落成記念式典が当センター役員・世話人等会員および招待客(元役員)、来賓など83名が参列して盛大に開催されました。

式典に先立ち、記念セレモニーが事務所玄関前で、山本肇理事長はじめ来賓の方々によるテープカットが行われました。



引き続き、

事務所会議室に会場を移して式典を行い、山本理事長の式辞では「待望の新事務所が完成したことは喜ばしいことであり、ここを拠点にシルバー人材センターとして地域への更なる貢献をして行きたい」と述べました。

続いて、森川常務理事より旧事務所の現在地への移転から新事務所・ワークプラザ建設に至るまでの経過



紹介、近隣のシルバー人材行センターなど友誼団体からの祝電の披露がありました。

最後に、新事務所・ワークプラザ建設にご尽力して頂いた「大和リース株式会社」に感謝状の贈呈を行い、式典は滞りなく終了しました。会員の皆様もお気軽に立ち寄り、談話コーナーを利用してくつろいでください。

《職員視察研修》

11月11日(金)、役員6名、職員13名は長崎県シルバー人材センターを訪問しました。

往路途中、架線トラブルのため、足止めという予期せぬ事態に。それでも何とか予定時間15分遅刻とな

報告がありました。

次に、谷口相生市長、遠山上郡町長など多くの来賓から祝辞を賜り、参列された来賓の

りながらも無事に到着しました。研修では、介護予防・日常生活支援総合事業、職群班等の組織体制、財政運営などについて、日頃の苦労話を交えながら、意見交換を行いました。

他府県のシルバーとの交流は、新たな発見やその地域の特色を知ることができ、良い刺激となります。

研修で得たことを今後の仕事の参考にしていきたいと思えます。



【高齢者ドライバース教室】

当シルバーセンターでは、10月29日(土)、「ドライバース教室」を開催、参加者は22名でした。

この教室は、相生市・相生警察署・当シルバーの共催で相生自動車教習所のご協力により毎年開催しています。

講座は相生警察署交通総務係により、高齢ドライバーに多い事故事例

と事故回避の行動について解説を受け、更にDVDによる高齢者の視覚交通安全を鑑賞しました。

屋外の教習コースでは、コース内の交差点に自動車の陰に自転車を配置して事故を再現、右折時は自転車やバイクの飛び出しにも対応できるよう安全確認と徐行(10キロ以下)を行い、右折時の加速は最も危険である事を学びました。

休憩後、参加者が一人ずつ教習車に乗り運転技能テストを受けました。参加者の中には、「免許取得後初めてのことで、大変緊張したが良い経験になった」などの感想もありました。

最後に、教習所所長から「高齢者はまず健康であること・事故を起こさない事が一番」との講評をいただきました。

運転技能テストの結果は満点の人も数人、1〜5点の方もおられ今後の運転留意事項が示された採点表を頂き講習を終えました。





《もみじまつりに出店》

矢野 重信

相生市観光協会主催の「2016 羅漢の里 もみじまつり」が、11月13日(日)、矢野町「羅漢の里」で開催されました。

今年、6年ぶりに晴天に恵まれて、会場は多くの人が出で賑わい、紅葉も色鮮やかに映え、沿道のかがし



も喜んでいた事でしょう。

当シルバーの役員、会員15名は、「焼きいも」「海産物」の販売、環境改善グループの「EMぼかし」の販売と「米のとき汁発酵液」「EM石鹸」の無料配布、会場入り口では来場者に「ゴミの持ち帰り運動」を呼びかけながら、ゴミ袋の手渡しを行いました。「焼きいも」「海産物」は完売し、楽しくとても充実した一日を過ごすことができました。

『しめ縄づくり講習会』

石野 和子

11月17日から三週続けて木曜日に、袖山光雄さんの指導により開催されました。

はじめに、ビデオにてしめ縄の作り方を学びました。正月に門松と共に戸口にしめ縄を置くのは「家の中に悪霊を入れず、無病息災、家内安全を願って飾られる」とのことです。

その後、各自が好みのしめ縄を作るために、わらで縄を編むのですが、ヨリをかけながら編むのに四苦八苦するも、賑やかで和やかな雰囲気の中で時間が過ぎました。

美しく仕上げるコツは縄を上手に編むことだそうです。

完成品

を前に、各々家に飾ることが楽しくみと三日間の講習を終えました。

改めて、稲穂や餅



わらなどを準備し、指導して下さった袖山さんに感謝いたします。

【園児との餅つき交流会実施】

松本 愛子

12月2日(金)、市立山手幼稚園(清水淑恵園長・園児80名)のオープンスクールの



大会で交流しました。

当日は、晴天に恵まれた師走のひと時、3基のうすを使って45Kgの餅を、つき手、ませ手とシルバーパワーを発揮して、園児達も交代しながら、「みんなで餅つきペタンコ」を楽しみました。

平成25年11月に始まった交流会は、毎回、園児達の笑顔にいやされ、今年も前日からの準備の疲れも忘れつつきたての餅と一緒にいただき、楽しい半日を過ごしました。

表紙のことは

【事務局より】

今回から表紙を東雲真沙美(しのめまさみ)氏のパステル画で飾って頂くことになりました。東雲氏は「紅風(こうふう)」の画名で、多くの作品を描かれています。会報には97号の「作品紹介」、102号103号の「連載手記」でパステル画を掲載しております。

【東雲氏より】

今回から表紙を飾らせて頂くことになりました。東雲紅風です。第一回目は新年号であり、「日の出」を画題にいたしました。大先輩の大道先生に少しでも近づけますよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしく御笑覧下さい。



平成28年度安全成績

(平成28年4月1日～11月末)

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	3件以下	5件
休業日数	120日以下	62日
物損事故件数	5件以下	6件

見逃すな ヒヤリで済んだ  
あの経験!!



親睦委員会便り

グラウンドゴルフ大会

第11回グラウンドゴルフ大会は10月15日(土)、相生市中央公園グラウンドにおいて相生・上郡地区の男性34名、女性13名が参加して行われました。



当日は、汗ばむほどの日差しでありましたが、ベテランと初心者が入り混じりプレーがされ、グラウンドは笑い声と歓声に包まれました。競技終了後はホールインワンゲームも行われ、ここでも歓喜の声がありました。

最後に成績発表と表彰、ラッキー賞の抽選が行われ和やかなうちに大会は無事終了しました。(敬称略)

◎成績は次の通りです。(敬称略)

◆女性の部

優勝 玉田 清美 スコアー 41

2位 森川 玉江 " " 41

3位 石野 和子 " " 48

◆男性の部(上位5位まで掲載)

優勝 寺田 匡男 スコアー 34

2位 井上 茂樹 " " 35

3位 大和 俊文 " " 38

4位 岡田 洋一 " " 39

5位 柴田 達雄 " " 40

会員の広場

『連載手記』《山の雑記帳 その①》

「日本一の遠足 富士山のいま」

藤原 雅裕



私は、学生時代から山好きで、卒業後は氷ノ山、伯耆大山や北アルプスなど、仕事の合間を見ては行きたい山々を少しずつ登りました。

60歳の定年を機に還暦の記念にと思つて屋久島・宮之浦岳に登った時から百名山に興味を持つようになった。

り登頂を目指すきっかけになりました。そして、平成26年8月その思いを達成することが出来ました。その中から印象的な名山を紹介したいと思います。



(富士山頂から眺めるご来光と雲海)

や写真、絵画等は至る所で見かけます。富士山は日本人の故郷です。

2013年世界遺産に登録されたその頂上で縦2m×横3mほどの『五星紅旗』を打ち振る中国人ツアーに私は仰天しました。「中国人も楽しんでるなあ」と思いました。

あちこちで出会う人から「富士山に一度は登りたい」と



(南アルプス上河内岳より富士山を眺める)

言う声を聞きますが、私は「登れますよ」と答えます。



夏の富士山では技術はほとんど不要、ひたすら体力勝負です。ただし悪天候に耐えるパワーと気力を必要とします。

また、富士山は登るよりも見るほうが良いという人もいます。否定はしません自分の足で登って、足元から次第に開けるその雄大な展望は筆舌に尽くし難いものがあります。例えば、山頂での雲海の彼方からのご来光は感動の極みです。

登頂は一生の思い出になることは間違いないですね。

「日本百名山」を著(あらわ)した深田久弥氏はこの山を「偉大なる通俗」と記していますが、私は「日本の遠足」と呼んでいます。

最近海外から多くの登山愛好家も、その素晴らしさを満喫されています。皆さんもトレッキングをしてチャレンジされては如何でしょうか。(つづく)





「おせち」(素材はフェルト)  
西島 香 さん

作品介绍



「門松と伊勢えび」(素材は色紙と組み紐)  
松本 愛子 さん

会員の入退会状況

平成28年9月1日～11月30日

【新入会員】相生 6名・上郡 4名 合計10名 (敬称略)

《相生地区》

杉本 克美・松原 和男・高島 和之・萩原 やす子・山崎 清・高畑 至樹

《上郡地区》

知識 宗年・段上 裕幸・森 勝宏・小林 和代

【退会会員】相生 11名・上郡名 4名 合計15名 (敬称略)

《相生地区》

山村 浪子・船曳 雅志・林本 和昭・山本 和行・前崎 峰子・徳 豊子・近藤 義一・斉藤 弘子  
八島 清子・天満 繁子・川本 利明

《上郡地区》

三浦 利之・坂本 一秋・深谷 弘司・高橋 直樹

【在籍会員数 (人)】

相生地区	上郡地区	全体		会員合計
		男性	女性	
564	106	519	151	670

平成28年分確定申告について

【受付期間】

平成29年2月16日(木)～

3月15日(水)(土・日除く)

【相談会場】

◎相生税務署(23・0231)

★還付申告は、2月15日(水)以前でも可。

★住民税申告は、受付できません。

◎相生市(23・7128)および、

上郡町(52・1113)の会場は、各市・

町の広報紙で確認願います。

【公的年金等受給者の申告方法】

◆次の①・②の両方に該当する場合は、所得税の確定申告は不要です。

①公的年金等の収入金額の合計額が、400万円以下

②公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が、20万円以下

◆例えば、配分金の収入金額が85万円以下の場合が該当します。

★①と②の両方に該当する場合でも所得税の還付を受けられる方は、確定申告書の提出が必要です。

◆所得税の確定申告が不要でも住民税の申告が必要な場合があります。

◆確定申告書等の作成には、個人番号(マイナンバー)通知カード及び本人確認の出来る書類(自動車運転免許証等)の添付(写)が必要です。





# 年男・年女



【今年の年男・年女は昭和8年、20年、32年の酉年生まれです。】

相生地区 36名、上郡地区 1名、合計 37名の方々をご紹介します。(敬称略)

**昭和8年(1933年)** ・ ・ 継宮明仁親王(つぐのみや あきひと・現平成天皇)が誕生(12月23日)、東京都内は提灯行列、全国各地は祝福ムード一色

- ▼ 2月 国際連盟が日本の「満州国」不承認、日本代表は不服として会場を退席、3月連盟脱退を通告
- ▼ 8月 中等野球大会(現全国高等学校野球選手権大会)で中京商対明石中、延長25回1-0で中京商が勝利

相生地区 3名	成瀬 カズコ	大西 茂	水野 世自正
---------	--------	------	--------

**昭和20年(1945年)** ・ ・ 米軍が8月、広島(6日)・長崎(9日)に原子爆弾を投下、日本はポツダム宣言を受諾(14日)、昭和天皇が宣言受諾の趣旨を放送(15日・玉音放送)、米国戦艦「ミズリー」の艦上において降伏文書に調印、太平洋戦争終結(9月2日)

- ▼ 10月 映画「そよかぜ」の主題歌「リンゴの唄」を並木路子が歌いレコード30万枚の売り上げ、終戦2か月足らずながら国民への「心の応援歌」となり、国民的歌手として映画と共に人気沸騰

相生地区 32名	田中 敏雄	加藤 敏昭	福元 義雄	丸谷 良樹	垣内美智代	本田 諭
	矢垣 靖子	北條 一美	三宅 森男	宮崎 信男	中上 光男	大石 泰男
	塚本 明	松岡 繁和	柿下 斌彦	大津 恒一	松川 忠好	中村日出子
	堤 正恒	平松ひろみ	中元 國好	永良 政和	中谷 英世	遠藤 敬雄
	多田 満長	内海 時夫	岩井 和温	北川 昌嗣	蒲原 清澄	中原 玉子
	中津 昭吉	藤田 和夫				
上郡地区 1名	橋本 信子					

**昭和32年(1957年)** ・ ・ 明治45年に白瀬中尉が南極大陸に上陸してから45年、観測船「宗谷」から永田武南極観測隊隊長(東京大学理学部教授)はじめ、計34名が上陸(1月29日)、「昭和基地」を建設、11名の越冬隊員が調査活動を開始、現在57次隊員が活躍している。

- ▼ 8月 茨城県東海村の日本原子力研究所で、日本で初の原子炉が臨界に達し、「原子の火」がともる。

相生地区 1名	高畑 至樹
---------	-------

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

鶏の鳴き声に夜明けを知ったのは、今は昔！ 今年酉年です。そこで「とり」にちなんだ言い伝えを話題にしてみました。

「鶏の両翼 車の両輪」という諺がありますが、両方のものが2つ集まり、お互いに助け合わなければならない間柄を言うそうです。

当シルバー人材センターも、清掃ボランティア等の地域への社会貢献は、一人では出来ない事でも沢山の会員の力を合わせれば、よりよくできるという、まさに「結合は力をなす」という事でしょうか。

こたつにはいりながら、私たちが若かりし日々を回想し、孫子たちに自分の持っている経験と知識を伝え、繋いでいけるのもこの季節の楽しいひと時です。

一番鶏が鳴く暁の明るさのように、今年も大いなる希望を持って輝かしく感動できる年でありますよう願っております。

編集委員会発行 (有田・浦川・濱中・松本・森川)